

別記様式

令和4年度学校評価報告書（全日制）

令和5年3月31日

教育委員会教育長 様

室蘭栄高等学校長

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 自主的・主体的に学ぼうとする意欲を高める学習指導の改善充実
- 2 基本的な生活習慣を確立し、多様性を認め、協調性を持たせる指導の充実
- 3 進路意識の高揚と将来の望ましい自己実現を可能とする能力の伸長
- 4 ウィズコロナのもと健康で充実した学校生活を目指す健康・安全指導の充実強化
- 5 学びの時間の確保を目指した働き方改革の推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
1 学習指導	・新教育課程の実施に伴って、1学年から観点別学習状況の評価ABCも提示している。各観点を数値化して評価するという考えのもと、評価方法の妥当性を検証する必要がある。 ・授業の中で端末機器を用いたグループワークを行うなど、生徒が主体的に取り組む場面をつくるよう取り組む。	○取組は十分である。 ・新教育課程の実施による観点別評価が行われているが、効果的なものとなるよう、改善を継続してほしい。 ・ICT活用に向けて取組を積極的に実施している。効果の検証、更新方法も継続検討してほしい。
改善方策	・ICTの取組先進校へ視察を行うなど、活用法に係る情報や課題を収集・共有する。また、効果的な指導方法等の改善に協働的に取り組み自己研修を深める。	
2 生徒指導	・落ち着いた生活をしているものの、身だしなみの乱れやしっかりした「あいさつ」、提出物の期限厳守など、細部に渡って行き届くよう促したい。 ・スマートフォンの使用、休み時間の不要な使い方（ゲームやSNS）が課題。家庭での使用も含めて依存状態に陥らないための主体的・自律的な使用に係る指導に努める。	○取組は概ね十分である。 ・感染対策を踏まえた対応ができていた。今後の部活動や学校行事の在り方を検討してもらいたい。 ・スマートフォンの活用方法について、生産的な道具となるように、実践的な指導を一層お願いしたい。 ・生徒指導の改善について、課題があると意識している教職員が一定数いる。問題意識を改善の具体に繋げて貰いたい。

	・感染対策を図ったうえで、学校行事を実施することができた。	
改善方策	・学校祭は、感染対策を十分に行うことで3日間日程での開催ができた。アフターコロナになっても、工夫を凝らして創造したい。 ・SNSやインターネットの適切な使用に係る指導はもとより、人としてあいさつや公共でのマナーなど、様々な場面を通じ職員全体で啓蒙する雰囲気を醸成する。	
3 進路指導	・進路学年協議会において、進路指導部と学年団が指導の流れを共有することにより、指導の一貫性を確保し、組織的に活動することができた。 ・模擬試験分析会において課題を学年団と教科担任とが共有し、効果的な指導を展開することができた。	○取組は極めて十分である。 ・組織的な進路指導体制の確立により、進路ニーズに応じた進路実績を維持できている。 ・エビデンスに基づいた指導を着実にを行っている。 ・難関校への合格実績など地域の中学生から目標とされるなど成果を挙げている。今後も継続してもらいたい。
改善方策	・引き続き、大学入試センターや各大学等が発信する、特に学校推薦型選抜や総合型選抜に関する情報を収集し、多様な選抜方法に対応した教職員の進路指導手法や生徒の進路学習を模索したい。	
4 健康安全指導	・ICTを活用した健康観察チェックを通して、生徒が主体的に感染拡大防止の行動をとるよう促し、校内における感染リスクの低減に努めた。 ・感染症対策を施した上で、毎日の清掃活動・厚生委員会の活動を継続した。火災や津波に関する最新の知見に基づき、本校の立地上の特性を踏まえた避難訓練を実施した。	○取組は極めて十分である。 ・正しい知識が醸成され、主体的な行動をとることができている。 ・健康等の自己管理ができていると教員・生徒双方が感じている。 ・ポストコロナの防災意識の向上を継続してもらいたい。
改善方策	・引き続き、生徒、自らが情報端末機器を活用して、心身の健康の保持管理ができるようシステムを更新する。 ・防災情報の取得方法や正しい危機回避に係る知識について、防災委員会を中心に実践的な訓練を実施する。	
5 組織運営	・間口減に伴い、校内組織の再編成を実施した。 ・教職員1人ひとりがより効果的に活動するために、各種委員会で原案作成、校務運営会議での審議を経て全体へおろすという段階を経た進め方で合意を形成できるように実施した。	○取組は概ね十分である。 ・学校の間口変更に伴う変革期が数年続くことから、経過措置を考慮しながら、効率的な組織再編、運営をお願いしたい。
改善方策	・校内組織の再編により7分掌から5分掌へと統廃合を実施するが、これまでの業務を精選しながら効率的な再編成へ変更させる。	

	・次年度の更なる変更について早めの見通し持ってシミュレーションする。	
6 研 修	・ＩＣＴ活用、保健器具活用等について、全職員を対象に職場研修を実施した。 ・札幌の進学校におけるＩＣＴを活用した教科教育の実際を視察し、本校教職員へ研修報告をすることで情報共有を実施した。	○取組は概ね十分である。 ・研修会など、積極的な取組が見られる。今後も継続してもらいたい。 ・今後、重要性が増すであろう事象に対して適切に対応している。
改善方策	・コロナ禍で硬直していた研修機会を平常に戻す取組を実施する。	
7 保護者・地域住民との連携	・コロナ禍前の活動に近づけたが、戻すにあたり内容等の精査を行っている。	○取組は概ね十分である。 ・地域施設を活用するなど、保護者との連携が見られる。今後も積極的に進めてもらいたい。
改善方策	・ＰＴＡ研修旅行では、参加者の理解のもと現地集合に快くご協力いただいた。これまで学校が担っていた取組の中でも保護者・地域と連携、協議しながら検討を続ける。	
8 施設・設備	・校内のネットワーク環境整備が進み各教室からリモート授業を実施することができた。 ・プロジェクターをクラス分導入することができた。	○取組は極めて十分である。 ・設備を利用し利用して新しい取組を試みている。継続してもらいたい。
改善方策	・設備・機材も故障や不調等に備え、引き続き、日常的な維持・管理の徹底に努める。	
9 そ の 他	・職員会議のペーパーレス化に取り組んだ。 ・保護者・生徒の一斉配信メールの加入率が昨年度より向上したことによって、お知らせ等の伝達が効率的になった。 ・欠席・遅刻連絡をメールアプリへ転換したことで軌道に乗り、保護者、職員の負担軽減に繋がった。	・今後も生徒及び保護者の意向を把握しながら、教育活動に対する満足度を高めてほしい。 ・種々の活動を精力的に行っている。一層地域との連携にも注力してほしい。
改善方策	・生徒、保護者へＷｅｂを活用した各種アンケートをお願いする機会が増えた。デジタル化が浸透してきた一方、回答率をどう高めるかが課題となった。改善策を総合的に検討する。	
公表の方法	・学校ホームページ上での公開 ・ＰＴＡ総会及び保護者懇談会等での説明	